

公民科【現代社会】学習指導案

日 時 令和元年10月24日(木)
 対象クラス 1年C組
 使用教科書 現代社会(東京書籍)
 授業者 久米信彦

1 単元名 2部 現代の社会と人間 第4章 現代の経済と国民福祉
 第1節 経済のしくみ

2 単元の目標

経済社会の変容、現代の企業、市場経済のしくみ、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融の自由化、政府の役割と財政などの学習を通して、20世紀から21世紀にかけての経済社会の特質を把握するとともに、個人や企業がどのような目的で経済活動を行っているのか、また、経済活動に対してどのような責任があるのか考察することができる。時事と関連させながら、基礎的・基本的な知識や概念を習得できる。

3 単元の評価規準

【A】関心・意欲・態度	【B】思考・判断・表現	【C】資料活用の技能	【D】知識・理解
時事と関連させながら、経済のしくみについての関心を高め、主権者としての自覚を高めようとしている。	日本の抱える経済のしくみの課題を見だし、その課題について思考し判断したことを自他に対して適切に表現している。	経済のしくみについて説明した資料を基に、そのしくみをまとめ、活用することができる。	経済のしくみについて理解し、知識を身につけている。

4 生徒観

男子16名、女子19名、計35名のクラスである。積極的に授業に臨む生徒が多い。理解力があり、探究心旺盛な生徒もいる。生徒の興味や関心に応じた授業を進めていきたい。

5 指導観

現代の経済社会の変容などに触れながら、経済のしくみに対する興味・関心を喚起させたい。また、満18歳からは高校生も選挙で意思表示ができることを自覚させ、経済のしくみの課題を解決するためにはどのようなことができるかについて、幸福、正義、公正などの観点をを用いて多面的・多角的に考察させたい。

6 指導計画(全 11 時間)

- | | | |
|--------------------|-----|----------|
| (1) 経済社会の変容 | 1時間 | |
| (2) 現代の企業 | 1時間 | |
| (3) 市場経済のしくみ | 1時間 | |
| (4) 国民所得と経済成長 | 2時間 | |
| (5) 金融のしくみとはたらき | 1時間 | |
| (6) 中央銀行の役割と金融の自由化 | 2時間 | |
| (7) 政府の役割と財政 | 3時間 | (本時 3/3) |

7 本時の評価規準

日本の税制から課題を見だし、他者との討議を通して多角的に検討し、適切に表現している。

【B】

8 本時の計画

(1) 本時のねらい

- ①日本の税制の特徴を多角的に考察することができる。
- ②日本の税制のあり方について考えをまとめ表現することができる。

(2) 展開

段	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 10	○納税の意味の確認	○グループ討議を経て「なぜ税金を納めるのか」確認する。	・個人作業とグループ討議をさせ、任意のグループを指名して話し合いの過程と結論を発表させる。	
展開 30	○直接税と間接税 ○公平な税制について	○「日本の税制における直接税と間接税の特徴」をメリットとデメリットの双方の立場から考える。 ○「公平な税制とはどのような税制か」をグループ討議を通じて考察を深める。	・基礎知識に事実誤認があれば最小限度の訂正をする。 ・話し合いが進まないグループにはよりよい結論に向けて話し合いを進める意義を説明する。 ・まずは個人で考え、グループ内で意見交換するよう促す。	【B】
まとめ 10	○まとめの発表	○「日本の税制のあり方」をグループ討議を経て提言する。	・望ましい社会をつくる方向での話し合いになるよう最小限度の助言はする。 ・導かれるべき正答があるわけではないことを伝える。	